

新規ビジネス創出を目指し スタートアップ企業2社との協業に向けた検討を開始

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎、以下 日東工業）は、株式会社日本政策投資銀行が主催するオープンイノベーションプログラム「東海オープンアクセラレーター※」に参加し全国のスタートアップ企業から新規事業の提案を募集していましたが、このたび、ノバルス株式会社（以下 ノバルス）と株式会社バンブルビー（以下 バンブルビー）の2社と協業に向けた検討を開始することが決定しました。

本協業により、ノバルスの通信機能付き乾電池を活用し、電気と情報インフラを担う当社製品のIoT化を加速させることで、『電気と情報をいつでもどこでも安全安心に利用出来る社会』の実現を目指します。

また、バンブルビーが手掛けるサービスのノウハウと当社の製品開発力・生産能力を活用し、宅配業界が抱える課題の解決に向け、より付加価値の高い製品・サービスの実現を目指します。

お互いのノウハウや技術を融合させた新規事業や産業の創出、市場の育成を通して、さらなる社会貢献を推進していきます。

会社概要

■ノバルス株式会社

設立 2015年4月24日
所在地 東京都千代田区一番町6番相模屋ビル7階
代表者 代表取締役 岡部 顕宏
事業内容 IoTコンサルティング事業、IoTデバイス・プラットフォーム事業

■株式会社バンブルビー

設立 2018年2月15日
所在地 千葉県市川市新浜1-20-24
代表者 代表取締役 東 哲也
事業内容 戸建住居中心に宅配ボックスの無償レンタル事業

※東海オープンアクセラレーターとは、東海地区で生まれた強固なブランドや多様な事業領域、顧客基盤などの経営資源（リソース）を有する東海企業4社が、斬新なアイデアやノウハウを有する全国のスタートアップ企業に連携を呼びかけ、東海企業4社それぞれのリソースを活用した新しい事業や産業を創出することを目的とするものです。

以 上